

国立科学博物館のYS-11は、戦後初の国産旅客機として試作2機に次ぐ量産初号機であり、1965年に航空局の飛行検査機として1998年末まで運用された後に、国立科学博物館に移管された機体です。日本の航空史上、価値ある機体として機械遺産（日本機械学会）や航空遺産（日本航空協会）にも選定されています。

YS-11は、移管後の1999年から年4回のメンテナンスを行いつつ、大切に保管してきました。しかし空港内では一般公開できず、長年、公開・活用について各方面に打診をしていたところ、20年目となった一昨年、ザ・ヒロサワ・シティが展示場建設を申し出てくれ、国立科学博物館とYS-11の展示・公開に関する協定が結ばれ、昨年9月末から移設のための解体作業が始まりました。

機材は国内で唯一、YS-11を運用する自衛隊の協力を、作業はJALのOBの方々にお願ひし、解体は順調に進み、エンジンや尾翼などのパーツ類は昨年12月に、最後に残った胴体、主翼2枚が3月27日、28日に輸送されました。28日午前零

時に羽田空港を出た全長27mのYS-11胴体を乗せた特注トレーラーは、深夜の国道15号、4号線で品川駅、上野駅を通り、午前5時にザ・ヒロサワ・シティに到着しました。

ようやく公開の夢が叶います。これから約半年をかける組立も公開を検討していますので、多くの方々に見て頂ければと思います。

【注】

この文章は、国立科学博物館の「科博メールマガジン 第852号」（発行：2020年4月9日）に掲載されたもので、鈴木一義先生に転載の許可を頂いて転載しました。

このYS-11は1999年に国立科学博物館に移管されてから、民主党政権時代の「仕分け」で蓮舫参議院議員との厳しい戦いもくぐり抜けた末、ずっと羽田に保存されてきました。しかし羽田の格納庫の使用料金の大幅な値上げに伴い、ついに再び日本の空を飛ぶことを断念、羽田の格納庫から離れることとなりました。このことがNHKのニュースで扱われたとき、インタビューに答えておられた鈴木一義先生の顔には強い悔しさが滲んでいたように思いました。

この量産初号機（試作から数えて3機目）には、開発当時の技術者、つまり戦時中の戦闘機設計に関わった技術者が改めて民間航空機的设计に取り組み、試行錯誤、失敗、挫折などの苦悩を経て完成に至るプロセスを今に伝える特別なものです。人は切羽詰まった状況に置かれたとき、もがきながら決断し、行動します。その決断と実行の足跡をこの特別な機体に見ることができるのです。

これは、技術史という側面からだけでなく、技術者教育、技術者倫理、そして技術者が新たな発想を得るためという側面から極めて重要なものです。技術者に「知識を生み出すための知識」を与えるものであり、技術者が想像力とイノベーションを生み出す力の源になるのです。それは、我が国がこれからも科学技術立国であり続けるため、そしてポストコロナの世界に技術者が柔軟に対応してゆくために必要なものなのです。

YS-11の保存にこれまで尽力されてきた鈴木一義先生を初めとした国立科学博物館の関係者の皆様、そしてこれから保存を継続していただくザ・ヒロサワ・シティの皆様には心から敬意を表したいと思います。

（橋本英樹／技術士（金属部門・総合技術監理部門））

国立科学博物館のメールマガジンについてはこちらから

（バックナンバーの閲覧もできます）

<https://www.kahaku.go.jp/userguide/mailmagazine/index.html>

【3】中部産業遺産研究会 2020年度 年会費納入のお願い／会計幹事【再送】

会員の皆様には2020年度年会費のお振り込みをお願いいたします。

銀行・支店 三菱 UFJ 銀行 鳴海支店
口座番号 普通預金 1531266
口座名 中部産業遺産研究会 会計係 朝井佐智子（あさいさちこ）
年会費 4,000 円

振込手数料が発生する場合は、振込される方にて手数料をご負担下さい。
領収証は振込の際に発行される領収証にて代用させていただきます。

CODIV-19（新型コロナウイルス）感染症拡大防止のため外出ができない状況にありますので、可能なタイミングに振込をお願いいたします。

--



中部産業遺産研究会のニュースレターは電子メールアドレスをお持ちの会員の皆様に Google グループのメーリングリストのシステムを使って配信しています。

配信元：中部産業遺産研究会 会報編集委員・広報幹事 橋本 英樹
Home Page URL : <http://csih.sakura.ne.jp/> E-mail : hidekih@wine.plala.or.jp Copyright 2002-2018 The Chubu Society For The Industrial Heritage, Allrights reserved.



このメールは Google グループのグループ「中部産業遺産研究会」の登録者に送られています。
このグループから退会し、グループからのメールの配信を停止するには csih+unsubscribe@googlegroups.com にメールを送信してください。
このディスカッションをウェブ上で閲覧するには、
<https://groups.google.com/d/msgid/csih/037601d631ce%24256b47a0%247041d6e0%24%40wine.plala.or.jp> にアクセスしてください。